

5月7日

GWが終わり、子ども達の声が学校に戻ってきました。

交通事故等の報告なく、子ども達の明るく元気な姿が再び見られたことを素直に喜んでおります。これも各御家庭や地域の方の御協力の賜物と感謝申し上げます。

今日の全校朝会では、TV放送を使って私から以下のことについて話をしました。

「今日は、『言葉の力』ということについて話します。

日本では、昔から言葉には力が宿ると考えられてきました。言葉一つ一つには力があって、その言葉を口にすればその通りになるという考え方です。『良い言葉』『めでたい言葉』を口にすれば良い結果になり、『悪い言葉』は口にしてはならないというものです。

たとえば皆さんが朝学校へ行く前に何と言いますか？『行ってきます』ですよね。この『行ってきます』にはどこかに行っても”再び帰ってくる”という意味で『行きます』と『帰ってきます』を合わせた言霊だそうです。ですから『行ってきます』には、『今から出かけます、そして必ず帰ってきます』という意味が込められているそうです。素敵な言葉ですね。

言葉には良くも悪くも大きな力があると思います。プラスの言葉をたくさん使えば、明るい人になります。逆に『自分なんてどうせダメだ』とマイナスの言葉を使えば、後ろ向きにどうしてもなってしまう。それから、口癖のように『バカ』という言葉を使ってしまう人はいませんか？もっとひどいのは『死ぬ』とか『ウザイ』とか使っていませんか？

この写真の人は、山下泰裕さんと言ってロサンゼルスオリンピック柔道の金メダリストです。その山下さんの言葉です。

『人が一番よく聞くのは、だれの言葉でしょうか。それは自分自身です。ほかの人に言われた言葉より、自分が心の中で言っている言葉を一番たくさん聞いています。』

だから、人に『バカ』とよく言う人は、その『バカ』という言葉が自分が一番聞いているんですね。汚い言葉、マイナスの言葉を使わず、プラスの言葉、自分も相手も心地よい言葉を使うことが大切ではないでしょうか。口癖になるほどに、前向きな言葉を使いましょう。『楽しい！』『絶対上手くいく！』『大丈夫！』そんな言葉を使って、未来を明るくええるのです。言葉の力は人生を変えるほど、大きなものなのです。

皆さんはどうですか？悪い言葉が口癖になっていませんか。一方で、友達の言葉から勇気づけられたり、元気になったりした人もいます。そんな友達に感謝する、お家の方や先生方に感謝する言葉『ありがとう』や元気な挨拶の言葉『おはようございます』

『こんにちは』『さようなら』等元気に言えて、自分も友達も元気になる、地域の人にも元気をいっぱい届ける。そして、人のことを悪くいう言葉や誰もが聞いて気分がよくない言葉が江戸小からなくなることを願っています。」

この後、5月のおすすめの本を紹介しました。

言葉の使い方、とても大切だと思っています。御家庭でも話していただけると幸いです。

流山市立江戸川台小学校 校長 上原 和浩